

校長あいさつ



## 「自己実現を果たせる生徒の育成」を目指して

日本各地の豪雪で降り積もった雪もようやく溶け、生命の息吹が感じられる中で令和7年度のスタートを切ることができました。

本年度より、世羅西中学校長を拝命しました今田 富士男（いまだ ふじお）と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本校は、校訓「自主・自律・創造」のもと、これまでも保護者や地域の方々から学校運営のご理解とご協力をいただきながら、多くのご支援のもとに歩みを進めてまいりました。本当にありがとうございます。引き続き、保護者から信頼され、地域の方々から愛される世羅西中学校であり続けるために教職員が一丸となって努めてまいります。

さて、令和7年度学校教育目標（めざす生徒像）は、昨年度から引き続き、「豊かな心で主体的に学び合い、自己実現を果たせる生徒の育成」としました。

本校では「自己実現」定義を、「自分の幸せを追求すると同時に、他者の幸せを追求できる生き方」と定め、昨年度「自己実現」に迫れているかの指標として、ルーブリック評価を導入し、「自己効力感」「自己有用感」「表現力」の3つの観点から生徒と教員が共通の評価基準のもとに教育活動を進めてまいりました。

評価基準は次のとおりです。

区分	A	B	C
<b>自己効力感</b> 目標に向かって「自分にはできる」と信じて取り組むことができる。	目標や課題を見つけ、課題解決に向けて最後まで取り組み、自信を持つことができた。	目標や課題を理解し、自ら考えて取り組むことができた。	決められた目標や課題に取り組もうとした。
<b>自己有用感</b> 誰かに必要とされていると感じることがある。	自分の役割を果たし、周りの人と指摘し合いながら成長し、集団に貢献できた。	自分の役割を理解し、周りの人と協力しながら取り組むことができた。	自分の役割に取り組もうとした。
<b>表現力</b> 自分の考えや思い、気づいたことを発表や行動などで表現することができる。	他者との対話や交流を通して、新たな気づきや学びを適切な方法で表現できた。	自分の考えや思いを持ち、相手に伝えるように表現できた。	自分の考えや思いを表現しようとした。

この評価基準のもと、世羅西中学校の授業や生徒会活動、学校行事など全ての教育活動を通じて3つの観点を高め、『自己実現を果たせる生徒の育成』に迫ってまいります。

令和7年度も、保護者・地域の皆様に本校の教育活動へのご理解をいただくとともに、一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和7年4月吉日

世羅町立世羅西中学校長 今田 富士男